

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

事務処理端末向け修正プログラム配付システム

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。富士通のパーパス「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていこう」とは、SDGs達成への貢献を社内外に約束するものです。富士通は、長年にわたりテクノロジーを通じて社会に価値を提供してきたグローバル企業として、社会の変革に主体的に貢献する責任があります。世界をより持続可能にするために、社会に対して、より良い、かつスケールの大きなインパクトを与え、自社も持続的に成長していくことを目指しています。富士通は、2023年5月に発表した中期経営計画において、2030年に向けた価値創造の考え方を示しました。必要不可欠な貢献分野（マテリアリティ）の「地球環境問題の解決」「デジタル社会の発展」「人々のウェルビーイングの向上」への取り組みを通じ、SDGsへの貢献を目指します。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs) を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030 年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定してきました。現在もGHG排出量の削減効果を算定し毎年報告しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>

環境貢献

検索



環境貢献ソリューション

事務処理端末向け修正プログラム配付システム

「事務処理端末向け修正プログラム配付システム」は、金融サービスを提供する銀行の事務処理端末の効率的な維持・管理を実現するソリューションです。従来、事務処理端末向けの修正プログラムはSEが現地に赴いて配付作業を行っていましたが、当システムは、リモートによる配付が可能となり、CEの出動回数の削減と業務効率化、および複製用媒体の削減につながります。結果として、CO₂排出量の削減にも貢献します。

「環境貢献ソリューション」の提供により、SDGsへ貢献します。

「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



気候変動に具体的な対策を

事務処理端末向け修正プログラム配付システムによる業務の効率化と環境負荷の低減

システム概要

「事務処理端末向け修正プログラム配付システム」は、金融サービスを提供する銀行の事務処理端末の効率的な維持・管理を実現するソリューションです。

従来、各事務処理端末に修正プログラムを配付するには、SEがマスタデータを準備し、現場CEが店舗にて複製用媒体（DVD）を作成して、手動で作業を行っていました。当システムは、修正プログラムをサーバに登録、配付日時を設定し、各事務処理端末が自動的にサーバから修正プログラムを取得、適用することが可能となります。

これにより、当該作業のためにCEが出動する必要がなくなり、人の移動と業務の効率化が図れます。また、媒体（DVD）の使用が不要となり、資源の節約につながります。結果として、CO₂排出量の削減にも貢献します。

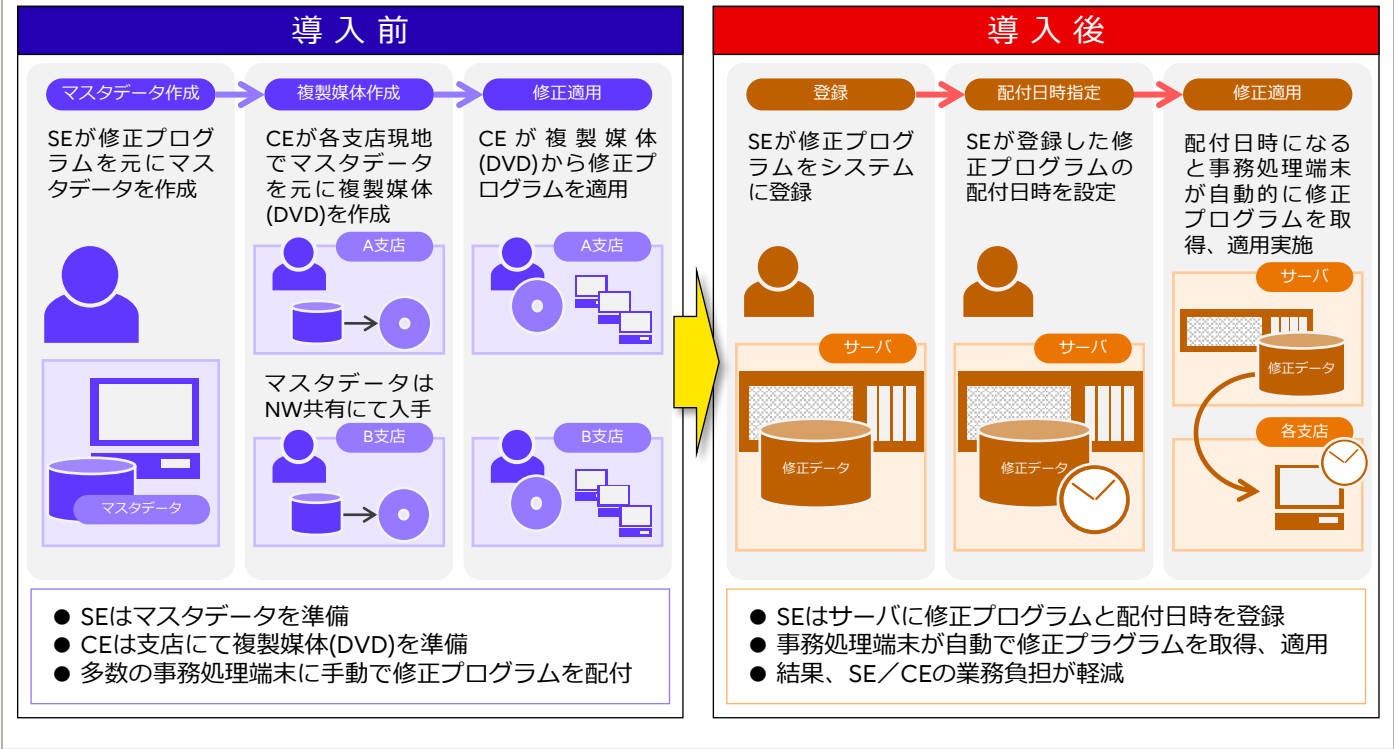
効果

- ・ CO₂排出量の削減効果：約93% ※富士通フロンテック試算
- ・ 事務処理端末の修正プログラム配付に係る業務時間の削減 ※端末数約10,000台、店舗数約400拠点、配付頻度1回／月で試算
【導入前】修正プログラム配付業務 約12,000時間／年（DVD媒体の準備、現地での修正プログラム配付作業）
【導入後】修正プログラム配付業務 約12時間／年（サーバに修正プログラムを登録するのみ）
⇒結果、約11,990時間／年の削減

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、システムの特性により結果が異なることを予めご承知おきください。

事務処理端末向け修正プログラム配付システムの導入によって、何故、SE／CEの業務負担が軽減されるのか？

- ① SE／CEが修正プログラムを配付するためのDVD媒体を準備する必要がなくなります。
- ② CEが各支店等において修正プログラムの配付作業を行う必要がなくなります。



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社
ファイナンス&リテール事業本部 第二ソリューション事業部
Webによるお問い合わせ： <https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/>